

2025夏ボラ新聞

— 発 行 者 —
社会福祉法人
新見市社会福祉協議会

新見市社会福祉協議会では、中高生の皆さんにボランティアの機会を提供し、社会福祉への理解を深めるとともに、さまざまな出会いの中から新しい発見や「共に生きていく」視点について考える機会として「夏のボランティア体験（夏ボラ）」を毎年実施しています。今年度も市内の福祉施設15か所において60名の中高生がボランティア活動に取り組みました。

施設分類別活動者数 高齢者施設（10か所）：39名 / 障がい者・児施設（5ヶ所）：29名

＊2施設で活動した参加者を含めています

7/12 事前研修会・活動調整会議

事前研修会では、ボランティアに関する社会福祉協議会での活動紹介と、ボランティアの意義、夏ボラの目的や心構え、活動のポイントなどについてお話をしました。そして、参加者それぞれが活動に向けた目標を立て、活動への思いを強くする機会となりました。

その後、活動調整会議では、ボランティア先の施設の方々と、日程調整や活動内容、留意事項の確認等を行いました。



私の目標 ～夏ボラに向けて～ （事前研修会のアンケートより）

- ・笑顔でコミュニケーションを取りながら、積極的に活動する
- ・積極的に行動するために、自分でよく考えながらボランティアに取り組む
- ・利用者の方をよく知ることができるよう、周りをよく見て行動したり、積極的に話しかける
- ・夏ボラを通して、障がい者の方たちの個性や特性を理解するとともに、自分に何ができの、自己理解につなげたい
- ・夏ボラを通して新たな出会いから自分自身の成長につなげたい



活動の様子

高齢者施設



利用者の方をやさしく支え、歩幅やペースもしっかりと合わせたサポートができていますね！



障がい者・児施設



みなさん、それぞれ掲げた目標に向かい、利用者の方にしっかりと寄り添った活動ができました。

8/23 事後研修会

事後研修会では、それぞれがボランティア活動を通して利用者の方や職員の方との関わりから感じた学びや気づき、体験の前後で変わったことなど、ワークシートを活用しながら振り返り、発表を通して成果の共有をしました。

ボランティア活動を体験するだけで終わらず、しっかりと振り返ることにより有意義な体験にすることができました。



感想 ～活動を終えて～



体験をしていくにつれ、認知症のある人、耳が聞こえにくい人などひとり一人違いがあり、話し方など相手によって気をつけることを把握して接することが大切だと気づくことができた。

最初は緊張してコミュニケーションが取れなかったけれど、3日間を通して「ゆっくり」「聞こえやすく」「わかりやすく」を意識して話すことができるようになり、たくさんコミュニケーションが取れるようになった。

ボランティア活動を通して、自然と周りを見て行動したり、相手の気持ちを考えて行動することができるようになった。今回の体験で、人と関わることの大切さや難しさなどを学ぶことができた。コミュニケーションを取ることの大切さや楽しさをたくさんの人に伝えたい。

人は誰でも支え合いながら生きている。その中で、自分の苦手なものは助けてもらい、自分でできることは自分でするということができた。

障がい者の方と関わる中で、私たちと何も変わらないけれど、私たちが勝手に壁を作っているところがあるのかもしれない。これからは、その方の特性を理解し、自分から積極的にコミュニケーションを取ることが大切だと感じた。

自分に自信がなかったが、夏ボラを通して段々と自信がつきとてもいい体験だった。いろいろな人との関わりは、自分にとっても相手にとってもいいことなのだと感じた。

夏ボラを通して、人の助けになることのうれしさを学ぶことができた。身の回りの小さなことからボランティアを続けたい。



～“夏ボラ”をひと言で表すと～



～施設の方からのコメント～

できることは自分で!できるところまでは自分で!難しいところを助け合う!障がいのある、なしに関係なく人はみんな誰かに助けをもらい、支え合って暮らしていることに気づけてとても良かったと思います。

利用者の方の顔と名前を覚え、やさしく言葉かけをしてくれたことは利用者の方のみなさんも喜ばれたことと思います。

自ら進んで利用者さんに話しかけたり、動きを見て行動する、コミュニケーションを通じて利用者さんを笑顔にすることができていました。



〈受入協力施設〉

- ・特別養護老人ホーム ゆずり葉
- ・特別養護老人ホーム 唐松荘
- ・特別養護老人ホーム おおさ苑
- ・介護老人保健施設 くらかみ
- ・養護老人ホーム 和みの郷かなや
- ・小規模多機能ホーム ウェルネスたかお
- ・介護老人保健施設 すずらん
- ・デイサービスセンター オレンジ
- ・新見市社協中央デイサービスセンター
- ・障害者支援施設 大佐荘
- ・共同作業所 つつじ憩いの家
- ・日中一時支援 かぜのおと
- ・福祉ワーカー阿新
- ・児童発達支援事業所 もりっこ
- ・健康の森学園
- ・小規模多機能ホーム にいざとさくらの丘
- ・ケアポート生き生き館新見
- ・グループホーム 花みずき
- ・新見市社協神郷デイサービスセンター
- ・哲西荘デイサービスセンター

編集後記

今年度も福祉施設での体験活動に60名の方が参加され、また高齢・障がい分野の20施設よりご協力をいただくことができました。大変ありがとうございました。参加者それぞれに、自分ができること、すべきことを考えながら動いたり、優しい笑顔で話しかけたり、そっと手を添えて歩く姿等が見られ、とても微笑ましく温かい気持ちになりました。3日間という短期間のボランティア活動にも関わらず、多くの気づきや学びを得て、事後研修会でもしっかりと自分の言葉で伝えることができました。この夏ボラをきっかけとして、これからも自分に合ったボランティアを見つけてチャレンジしてほしいと思います。

ご協力いただき、ありがとうございました!!

